

☆☆ 千葉農業事務所要覧 ☆☆

— 多様な担い手が躍動する持続可能な農林業を目指して —



千葉県マスコットキャラクター 「チーバくん」

令和6年5月

1 千葉地域の農業の概要



千葉地域:千葉市、習志野市、市原市、八千代市

農家戸数: 5,080 戸

耕地面積: 9,666 ヘクタール

うち水田: 4,680 ヘクタール

畑 : 4,982 ヘクタール

出典:2020 年農林業センサス(令和3 年 12 月 24 日更新)
作物統計調査(令和6年2月29日公表)

千葉地域の令和4 年農業産出額

農業産出額(4市合計)

約212億円

うち 野菜 約76億円(36%)

うち 米 約31億円(15%)

うち 乳用牛 約28億円(13%)

うち 鶏 約25億円(12%)

資料:令和4年市町村別農業産出額

(農林水産省 令和6年3月14日公表)

千葉地域の農林業は、都市化の進んだ習志野市・八千代市南部・千葉市西部及び中央部・市原市北部の都市農業地域と、千葉市東部・八千代市北部及び市原市中央部の平地農業地域、緑豊かな市原市南部の中間農業地域に分類されます。

農家戸数は5,080戸で全世帯数の約1パーセント、耕地面積は9,666ヘクタールで面積全体の約14パーセントとなっております。

都市農業地域では「春夏にんじん」や葉菜類等の野菜や「日本なし」等の果樹を中心とした集約的経営、平地農業地域では水稻と「秋冬にんじん」、「だいこん」等の露地野菜や花き、畜産等の複合経営、中間農業地域では畜産の大規模経営や、「しいたけ」等の特用林産物を取り入れた複合経営が営まれるなど、多様な農業が展開されています。

また、各地に整備された直売施設や観光農園等が、都市と農村との交流拠点となっています。

(1) 農業・担い手育成

水稻・落花生



千葉地域の水田農業は主に平地農業地域及び中間農業地域で営まれており、令和5年の水稻作付面積は約3,299haで、県全体の5.6%となっています。

近年は大規模経営体への農地集積が急速に進んでおり、直は等の省力化技術の導入や、高収益作物を推進し水田経営の安定化を目指しています。

また、担い手が不足する地域では集落営農により地域農業を維持する体制づくりを進めています。

落花生は、秋冬にんじんの輪作作物等として栽培されており、千葉地域の特産となっています。

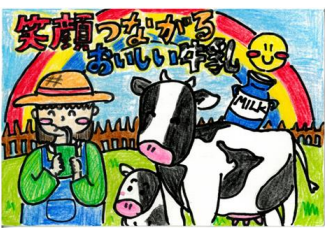
野菜

都市農業地域(千葉市幕張地区、習志野市)では、春夏にんじん・葉菜類等が生産されています。平地農業地域(千葉市東部・市原市中央部・西部・八千代市北部)では、春・秋冬だいこん、春夏・秋冬にんじんの根菜類や、ほうれんそう、キャベツ等の葉菜類が生産されています。また直売や摘み取りを中心としたいちご生産が増加しています。



市場出荷のほか、消費地に近い立地条件を生かして、庭先、直売所、インショップなど多様な販売形態が展開されています。

畜産



令和5年度おいしい牛乳ありがとう
絵手紙コンクール作品

畜産経営体は、習志野市を除く千葉市、市原市、八千代市にあり、住宅地に隣接するものから、農業地域、丘陵地域に至るまで点在しています。

酪農は成牛30頭～60頭規模の家族経営が多く、5割以上が50歳未満の経営者又は後継者のいる経営体です。千葉市、市原市、八千代市それぞれに酪農後継者組織があり、技術向上を図っています。

肉牛は、市原市を中心に中小規模の経営体が点在しています。

養豚は、市原市南部の養豚団地を中心に、千葉市、八千代市にも、母豚50～100頭前後の中小規模の経営体が点在しています。

養鶏は戸数は少ないものの、小規模から大規模の経営体が千葉市、市原市に点在しています。

果 樹

千葉地域では、消費地に近い利点を生かして、日本なしやブルーベリー、かき、ぶどう、キウイフルーツ等の果樹が生産されています。市原市及び八千代市は、日本なし等を対象とした「果樹産地構造改革計画」を策定し、産地が一体となって生産基盤を強化しています。



また、市原市のいちじくは、昭和初期から生産されており「姉崎いちじく」として皇室へ献上されています。

花 き



千葉地域では、花壇苗(パンジー、ペチュニア、プリムラ類)を始め、鉢物(シクラメン、観葉植物、洋ラン)、切花(小ギク、トルコギキョウ、ストック、洋ラン)、植木等が生産されています。

販売方法は市場出荷が中心であり、ほかにホームセンター等の量販店との直接取引や近隣の直売所での販売が行われています。

青年農業者

次世代を担う中核的な農業者を確保するために、農業を志し、かつ学習意欲のある青年農業者を対象とした「農業経営体育成セミナー」及び「青年農業者等スキルアップ研修」等の研修を開催しています。

これらの研修を開催することにより、就農を定着させるとともに、経営者としての資質及び能力の向上を図ります。



女性農業者



主体的な経営参画や社会参画ができる女性農業者を育成するために、関係機関や女性農業者組織・団体等との連携を強化し、女性農業者が活躍できる環境づくりを進めています。

また、農業に関する知識や技術を向上させるために講習会、研修会及びセミナー等の集合研修を開催し、次代を担う若手女性農業者の経営参画を促進しています。

(2) 農業農村整備

当地域の先人たちは、河川の豊かな水の恵みを利用した「水車」、「板羽目堰」等の歴史的・文化的に価値のある利水技術を考案し、耕地整理とともに地域の農業を発展させてきました。



写真：市原市海上地区の麦作と西広堰

これらの水利施設は農業農村整備事業の実施により、頭首工や揚水ポンプといった近代

的な施設に更新することで、より安定した用水確保や送水ができるようになりました。

しかし、近年は施設の老朽化や光熱費の高騰に伴い維持管理費が増大していることから、「基幹水利施設ストックマネジメント事業」等の施設更新・長寿命化対策事業を計画的に行っています。

農地についても「経営体育成基盤整備事業」等を契機として、水田の大区画化、担い手への土地利用集積を促進することで大規模経営が可能となりました。

農業農村整備事業により客土や暗渠排水も行い、水田の汎用化に伴い麦や大豆の生産を容易にしたほか、高収益作物への転換、飼料用米等の生産にも取り組んでいます。

なお、基盤整備後の農地等の周辺環境は、土地改良区や自治会が中心となり、非農家の構成員を含めた多面的機能支払交付金の活動組織を立ち上げ、地域ぐるみで維持・保全を行っています。

<令和5年度末時点での 30a 以上を標準とするほ場整備率:57%>

(3) 農林業災害への危機管理の強化

近年、多発する台風や大雪などの自然災害や、高病原性鳥インフルエンザなどの急性悪性家畜伝染病への対策として、各市や関係機関等との協力・連携を進めるとともに、収入保険や農業共済といった農業保険への加入を促進しています。また、ため池の決壊による水害等の災害を未然に防ぐための工事等を計画的に推進しています。

2 第6次千葉地域農林業振興方針(施策関係)

(1) 基本施策

主要施策	推進方針	具体的な主要施策(主なもの)	担当課
多様な担い手の確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> ・新規参入者等の確保・育成 ・新規就農者の定着から経営発展までの支援 ・女性農業者の活動支援 ・経営感覚に優れた担い手の育成 ・農地中間管理機構を活用した担い手への農地集積・集約化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちば新農業人サポート事業 ・新規就農者育成総合対策 ・農業次世代人材投資資金 ・農地利用効率化等支援交付金 ・アグリウーマンイノベーション事業 ・機構集積協力金交付事業 	企画振興課 改良普及課
農業のスマート化による生産力の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業の活用による農作業の省力化や軽労化、生産力強化の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業 ・農産産地支援事業 ・スマート畜産推進事業 	企画振興課 改良普及課
力強い産地づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・産地活性化の促進と戦略的連携 ・高収益型園芸農業の推進 ・落花生の生産振興 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・強い農業づくり総合支援交付金 ・産地生産基盤パワーアップ事業 ・「輝け！ちばの園芸」次世代産地整備支援事業(再掲) ・農産産地支援事業(再掲) 	企画振興課 改良普及課
水田農業の持続的な推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地域をけん引する水田農業の担い手の育成 ・新規需要米等の生産拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ・強い農業づくり総合支援交付金(再掲) ・農産産地支援事業(再掲) ・飼料用米等拡大支援事業 ・経営所得安定対策 	企画振興課 改良普及課
次世代に向けた畜産の振興	<ul style="list-style-type: none"> ・飼料生産集団の育成と耕畜連携による自給飼料の増産 ・家畜排せつ物の適正管理と有効利用 ・畜産の次世代経営者の育成及び連携強化 ・経営資源の有効活用・支援 	<ul style="list-style-type: none"> ・県産飼料自給体制整備事業 ・畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業 	企画振興課 改良普及課
販売力の強化と6次産業化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地産地消の推進及び消費者との交流促進 ・農産物の高付加価値化の推進 ・食育の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「グリーンブルーーツーリズム in ちば」推進事業 ・農山漁村振興交付金(農山漁村発イノベーション対策) ・農業経営多角化支援事業 ・消費・安全対策交付金 ・ちば食育活動促進事業 	企画振興課 改良普及課

主要施策	推進方針	重点事項・具体的な施策	担当課
食の安全・安心体制の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した農業の推進 ・肥料・農薬等の適正使用の推進 ・消費者の信頼確保に向けた取組の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境にやさしい農業」推進事業 ・環境保全型農業直接支払交付金 ・園芸用廃プラスチック処理対策推進事業 ・農薬安全使用・リスク管理推進事業 	企画振興課 改良普及課
生産基盤の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹水利施設の対策工事の推進 ・競争力を高める基盤整備の推進 ・地域の共同活動の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・基幹水利施設ストックマネジメント事業 ・経営体育成基盤整備事業 ・農地耕作条件改善事業 ・多面的機能支払交付金 	基盤整備課
地域資源の有効活用と農村の活性化	<ul style="list-style-type: none"> ・都市農業の持続的な発展 ・中山間地域における農業活動の継続 	<ul style="list-style-type: none"> ・中山間地域等直接支払交付金 ・中山間地農業ルネッサンス事業 	企画振興課 改良普及課
荒廃農地の発生防止・再生と有害鳥獣	<ul style="list-style-type: none"> ・荒廃農地の発生防止や再生による農村環境の保全 ・有害鳥獣被害防止対策の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ・農地中間管理事業(再掲) ・多面的機能支払交付金(再掲) ・中山間地域等直接支払交付金(再掲) 	企画振興課 基盤整備課
農林業災害への危機管理の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・農林業災害に備えた体制の整備 ・農村の減災・防災対策 (ため池等の防災工事の推進、田んぼダム等) ・新型コロナウイルス感染症への対応等 	<ul style="list-style-type: none"> ・気象災害に強い果樹産地支援事業 ・災害復旧事業 ・ため池整備事業 ・防災施設ストックマネジメント事業 ・農業用河川工作物等応急対策事業 ・多面的機能支払交付金(再掲) ・鳥獣被害防止総合対策交付金 	企画振興課 改良普及課 基盤整備課

(2) 重点施策

産地	課題と改善方向	数値目標	現状 (R2)	目標 (R7)
にんじん (秋冬・春夏)	新たな担い手の確保と担い手の にんじん作付面積の拡大、にんじんの 品質向上と収量の増加	にんじん出荷量(1~12月)	3,700t	4,000
		にんじん販売額(1~12月)	4.4億円	4.7億円
だいこん	長期的な産地の維持、だいこんの 品質向上と収量の増加	だいこん出荷量(1~12月)	12,900t	15,000t
		だいこん販売額(1~12月)	10.2億円	13.5億円
なし	生産性の向上、担い手の確保と 規模拡大の推進	温暖化に対応した栽培管理 導入戸数	4戸	33戸
		主要な担い手の栽培面積	47.9ha	50.0ha
水田農業	水稲規模拡大可能志向経営体の 経営規模拡大と経営安定化、地域 活動による水田農業の維持	対象経営体による規模拡大面積	-	180ha
		省力化新技術・機械を導入した 経営体数	3経営体	18経営体

3 統計情報

(1) 人口、農家数及び耕地面積等

単位：人、戸、ha

区分	人口	世帯数	総農家数	販売農家数	主副業別経営体数(個人農業経営)		
					主業	準主業	副業的
千葉市	981,909	470,570	1,687	862	180	140	547
習志野市	175,966	82,128	134	62	13	21	29
市原市	263,402	121,127	2,617	1,332	151	190	1,028
八千代市	203,851	91,039	642	403	125	81	200
合計	1,625,128	764,864	5,080	2,659	469	432	1,804

区分	面積	耕地面積	田	
			田	畑
千葉市	27,176	3,530	856	2,670
習志野市	2,097	62	1	61
市原市	36,816	5,250	3,390	1,860
八千代市	5,139	824	433	391
合計	71,228	9,666	4,4	4,982

資料 人口・世帯数：千葉県毎月常住人口調査月報（令和6年4月1日現在・総合企画部統計課）、農家数：2020 農林業センサス（令和3年12月24日現在・農林水産省・千葉県総合企画部統計課）、面積：令和4年全国都道府県市区町村別面積調（令和6年1月1日現在・国土地理院）、耕地面積：作物統計調査（令和6年2月29日 農林水産省公表）
* ラウンドの関係で合計が合わない場合がある

(2) 主な農産物の農業産出額（推計）（令和4年）

単位：千万円

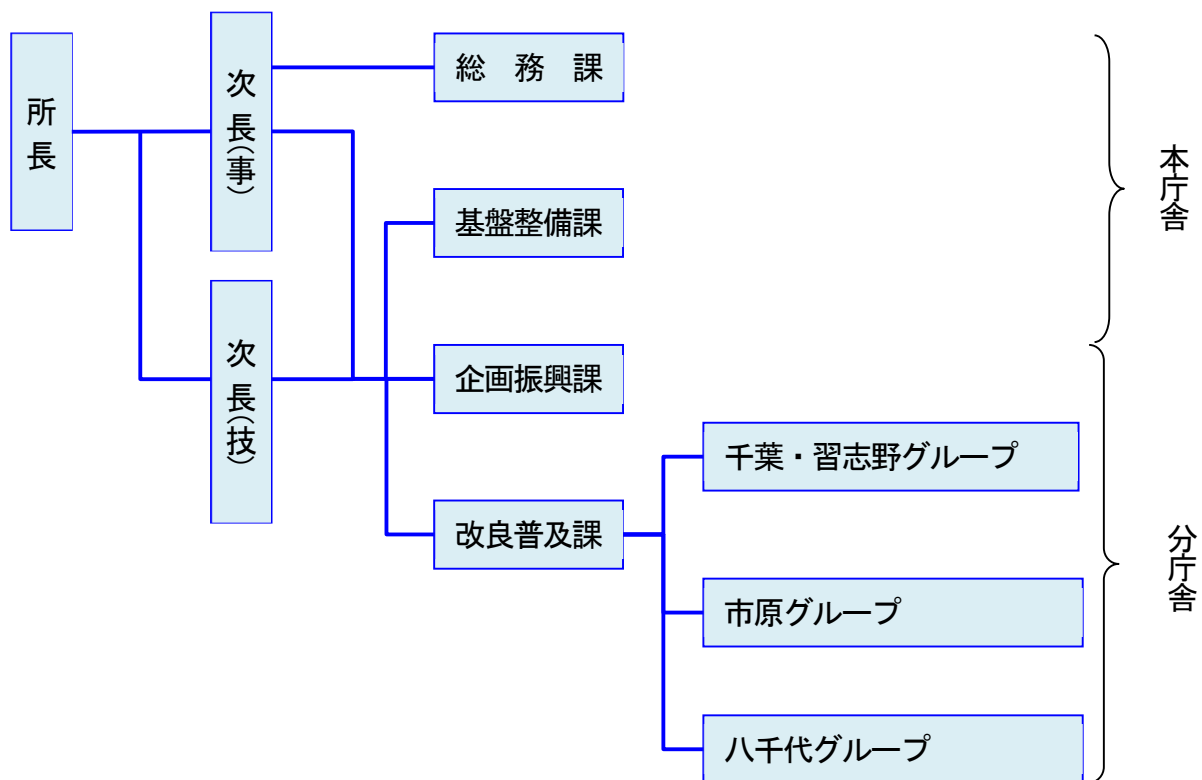
順位	千葉市		習志野市		市原市		八千代市	
	農産物名	産出額	農産物名	産出額	農産物名	産出額	農産物名	産出額
	産出額計	897	産出額計	27	産出額計	888	産出額計	309
1	生乳	87	にんじん	5	米	228	生乳	73
2	鶏	73	ほうれんそう	4	豚	184	日本なし	31
3	豆類	70	ねぎ	3	鶏卵	173	米	25
4	米	59	トマト	2	生乳	81	ねぎ	20
5	ねぎ	47	さといも	1	だいこん	77	ほうれんそう	15
6	にんじん	42	だいこん	1	日本なし	23	きゅうり	15
7	いちご	36	キャベツ	1	すいか	21	乳牛	14
8	トマト	34	きゅうり	1	豆類	16	トマト	14
9	ほうれんそう	32	なす	1	乳牛	8	いちご	13
10	キャベツ	20	ブロッコリー	1	花き	7	にんじん	9

資料 令和4年市町村別農業産出額(推計)(令和6年3月14日 農林水産省)

(注) 農林水産省が秘密保護の観点から統計数値を公表していない品目については含めていない。

4 千葉農業事務所について

(1) 組織図



(2) アクセス・連絡先

【 本庁舎 】 〒290-0056 市原市五井 5500-4

所長、次長(事)、総務課 TEL 0436-21-0127 FAX 0436-21-8962

基盤整備課 TEL 0436-21-0128 FAX 0436-21-8962



【 分庁舎 】 〒266-0014 千葉市緑区大金沢町 473-2

次長(技)、企画振興課 TEL 043-300-1985 FAX 043-293-3916

改良普及課 TEL 043-300-0950 FAX 043-293-2710

